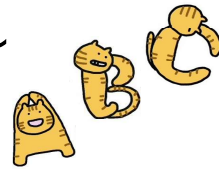


パトトレ入門⑤ ～行動のABC～

なんで こうなっちゃうんだろう？



行動理解
(ABC分析)

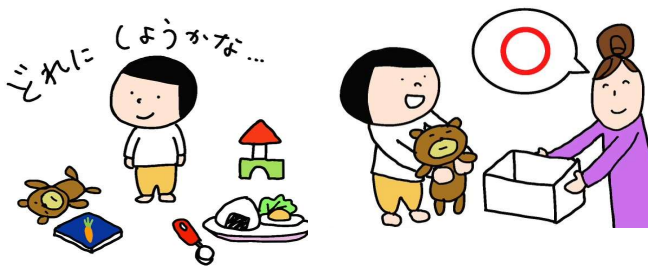
結果から学習し、行動が強化される。

A 先行状況 (～のときに)	B 行動 (～したら)	C 結果 (こうなる) = 大人の行動 こどもの行動に対する結果
例①かたづけのときに 	やらなかつたら 	叱られた。 大人が片づけてくれた。
例② 食事中に 	立ち歩いたら 	何度も声をかけられた。 追いかけてきて 食べさせてくれた。

C 結果 を変えると、**B 行動** が変わる！
大人の行動 こどもの行動

C がこどもの注目欲求を満たす「報酬」になっている場合、B をくり返します。

例① 「どれかひとつ片付けて」って言われて、ひとつ箱に入れたらほめられた(25%ルール)。これなら簡単！まだまだ入れられるよ！



例② 座っているときにパパとママが笑顔でこっちを見てくれる。立ち歩いている時は、ちっとも見てくれないけど、席に戻ったらほめられた。



こどもが望ましい行動をしたときに、しっかりと OK サインを出すと、こどもはどうすればよいのか、自信をもって理解できます。大人の感情的な言動は、「パパやママは怒っているが注目してくれている」という情報だけが伝わり、肝心の「どうすればよいか」がこどもに伝わりません。

困った行動のループは、大人がコントロールできるパート **C 結果(こうなる)** を変えることで、止めることができます。一時的に困った行動が増えたように感じる場合もありますが、今こどもが何を学習しているのかを観察して、接するようしてみてください。

